

自分の思いや考えを伝え合い、考えを深めたり
合意形成をしたりすることができる子の育成
～国語科(話す・聞く領域)、特別活動を通して～

国語(話す・聞く)

思考に関連する語句の獲得

- ・しかし ・要するに ・考えます
- ・～は～に比べて ・～が～すると など

↓自分の考えの整理(事前)



トークタイムの実施(朝学習・他教科など)↑

実践の動画撮影・振り返り

「ぼくだったらこうします。」とか、つなげる言葉
が使えていたね。



話型の活用

私はこのように考えたんだけど、
みなさんはどう考えますか。



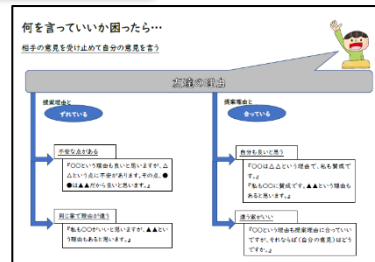
確かにその考えもいいと思います。
ちなみに、ぼくの考えは・・・。

特別活動(学級会)



自分の考えの
整理・共有
(事前)

フローチャートの提示

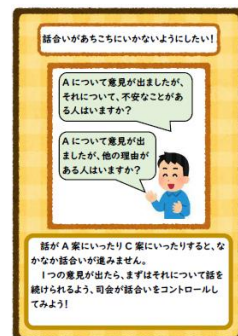


ICT 機器の活用

Google フォームに意見を入力し、共有する。
→「出し合う」を省略し、「比べ合う」
ことから話し合いを始める。

話型・ヒントカードの提示

〇〇という意見についてどう
思いますか。



教師の働きかけ(助言・終末の価値付け)

「たのしく」「やさしく」がキーワードでしたね。



〇〇さんの不安に対して、
すぐに解決する考えがでてきましたね。

成果と課題

○話す・聞くや学級会の授業の進め方の共通理解を図ることができた

→話をつなげること、提案理由に沿って話し合い、合意形成を図ることができるようになってきた。

○高学年で、友達の意見を聞いて感想や意見を伝えたり、友達の意見のよいところを認めたりすることができる回答した児童が増加した。

○低学年で、友達と自分の考えが違っていても、よい考えだと思ったら賛成することができる回答とした児童が増加した。

→今回講じた手立てにより、意見を聞いて、それについて考えを伝えることができるようになってきている。この指導を継続していくことで、高学年でも合意形成を図れる児童を増やしていく。